

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	交通安全対策の充実		電話番号	087-839-2555
	基本事業	交通安全教育・啓発の推進		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者交通安全啓発推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者に、加齢による身体能力の低下の自覚と危険予測の考え方を身に付けてもらえるよう、参加体験型の交通安全教育の普及に努めるとともに、高齢者の自主的な運転免許証返納の促進策として、ICカード乗車券の交付を実施することにより、高齢者が関係する交通事故の減少を図る。				
29年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者運転免許証返納促進事業 ・シニアイルカカード、JRIヨコカカード（1万円×1,100件）など ・高齢者交通安全教室等の開催 ・高齢者交通安全自転車大会の開催 ・シルバードライバースクールの開催 				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）


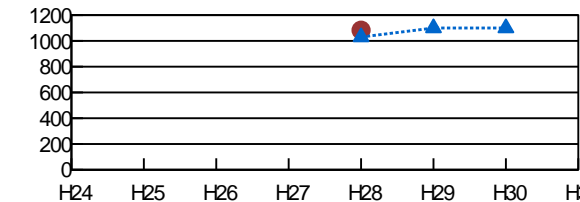

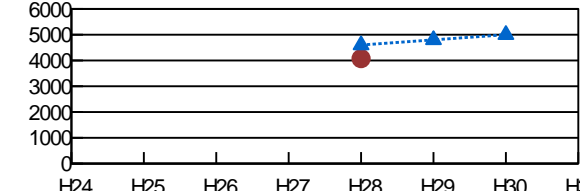
【事業の目的】

対象（何を）	高松市の高齢者（65歳以上）
意図（どのような状態にしたいか）	運転免許証の自主返納により、高齢者が当事者となる交通事故が減少する。 体験型の交通教室の実施により、高齢者自身が加齢による身体能力の低下を自覚し、危険予測の考え方の普及や、交通安全知識の向上が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
高齢者交通安全教室等の開催数	回			975	1,050	1,120

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	ICカード乗車券交付申請者数	人	目標値			1,030	1,100	1,100
			実績値			1,083		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 1月末から総合センターで交付手続きを開始した影響で、目標値を上回る申請者数となった。  （目標達成度）	 （達成度） 105.1% 35点						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値の約9割だったものの、概ね達成できた。  （目標達成度）	 （達成度） 88.5% 30点						

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	16,654	14,736	13,850	15,396
（事業費）	[円]	9,273	10,897	9,924	11,470
（職員人件費）	[円]	7,381	3,839	3,926	3,926

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

高齢者向けの交通安全教室を拡充するため、高齢者居場所づくり事業や包括支援センターと連携して、積極的かつ多くの高齢者を対象に教室を開催できるような方法や体制を検討する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

さらなる高齢者の運転免許証の自主返納を促すため、土・日・祝日にICカード乗車券の交付手続きを行えるように、市民サービスセンターでの取扱いを検討する。